



2019年4月24日

報道関係者各位

慶應義塾大学

## 慶應義塾大学 AI・高度プログラミングコンソーシアムの設置

### ー学生の AI・プログラミング活動を大学と企業が支える新しい試みー

慶應義塾大学では、AI・プログラミング活動（以下、AI 活動）に興味を有する学生およびこれから AI 技術を取得したい学生全員に門戸を開いた AI・高度プログラミングコンソーシアム（代表：理工学部教授 伊藤公平）を設置しました。7 学部の 1・2 年生が学ぶ日吉キャンパスと、理工学部の矢上キャンパスのそれぞれに、AI・高度プログラミンググループと AI サーバー室を設置し、1) 学生に対する高度計算機資源の提供、2) レベル別 AI・プログラミング講習会の実施、3) 各種 AI・プログラミングコンテストの開催、4) 個別 AI・プログラム利用相談会等を行います。最大の特徴は、講師・相談員やコンテストの企画・運営を AI 上級者の学生が担うことです。そこでの議論に大学教職員と会員企業メンバーが加わり環境や方向性を整えることから、学生の学生による学生のための AI 活動を奨励し、これからの学界・産業界を担う AI・IT 人材育成の新しい方向性を形作ります。

#### 1. 設置の背景

大学が学術研究を世界レベルでリードするためには、IT 技術を用いた調査の効率化に加えて、最新の AI 技術を駆使した分析など、常に新しいアプローチの試行が求められています。産業界においても AI・IT の有効活用は必須で、文系理系を超えた AI・IT 人材の育成が高等教育機関に求められています。そこで、さまざまな大学において、AI・データサイエンス系学部の新設や、大学院レベルでの AI コースの設置が進んでいます。一方、学部やコース、文系理系の枠を超えて、広く AI・プログラミング人材を育てることは容易ではありません。最大の困難は、学生によってレベルや目標が大きく異なり、それぞれに合わせたプログラムを用意しなければいけないことです。慶應義塾大学においても、多様なレベルで学生に寄り添い、AI・プログラミング教育に取り組める講師の数が決定的に不足していました。

#### 2. 学生中心の新しい試み ～逆転の発想～

このような背景をふまえ、本コンソーシアムにおいては、逆転の発想を採用しました。慶應義塾で学ぶ学生には、理系の専門レベルで極めて高い AI・プログラミング能力を有する者から、文系学生で AI のビジネス活用などに長けている者など、多様な AI 人材が含まれます。そこで、学生 AI 人材が一堂に集まり、高度計算機資源を利用して切磋琢磨する環境を、コンソーシアムとして整えます。そして学生 AI 人材にそれぞれの視点で AI・プログラミング講座を開講してもらい、コンソーシアムが支援します。これにより、様々なレベルで AI・プログラミングを学びたい学生のニーズを満たす講義が開講され、講師が学生であるがゆえに、受講する学生に寄り添った AI 教育が実現できます。また、AI 活用こそが、ゲーム感覚で新しいことに取り組む学生の得意分野であるだけに、様々なレベルでのコンテストの企画・運営にも学生 AI 人材が積極的に参加します。

### 3. 活動内容

1) 学生に対する高度計算機資源の提供、2) レベル別 AI・プログラミング講習会の実施、3) 各種 AI・プログラミングコンテストの開催、4) 個別 AI・プログラム利用相談会等を行います (図 1)。個別相談会では、学生からの相談に加えて、大学教職員や研究者からの AI の研究活用や業務活用に関する相談にも応じます。



図 1 AI・高度プログラミングコンソーシアム講座・イベント一覧 (3月28日時点)

### 4. 施設概要

7 学部の 1・2 年生が学ぶ日吉キャンパスと、理工学部の矢上キャンパスのそれぞれに、AI・高度プログラミングルームと AI サーバー室を設置します。ルームが学生の AI・プログラミング活動の場となり、そこからサーバー室の AI マシン等にアクセスします。また、日吉キャンパスにコーディネータールームを新設し、専任のコーディネータが、コンソーシアムの円滑かつ適正な運営を監督し、学生の相談に応じ、会員企業と学生と交流の橋渡し等を担います。

矢上ルームでは、理工学を学ぶ学部生と大学院生が専門性の高い活動に励み、コンテスト等もより高度な内容となります。

### 5. 会員企業の役割

会員企業は、本コンソーシアムのすべての活動を見学できます。また、本コンソーシアムのプログラムに対して企業の視点からアドバイスを行い、企業によるセミナー等により学生たちの AI ビジネス人財としての成長を促します。会員企業主催の AI コンテスト等も実施されます。

現時点での会員企業は、カシオ計算機株式会社、ジック株式会社、東京海上ホールディングス株式会社、伊藤忠商事株式会社、パーソルキャリア株式会社、SOMPOホールディングス株式会社、株式会社三井住友銀行、日産自動車株式会社です。また、矢上 AI・高度プログラミングルーム協力企業として、J S R 株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三菱 UF J フィナンシャル・グループ、三菱ケミカル株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社に参加いただいています。会員企業は随時募集しており、本コンソーシアム Web サイト

(<https://aic.keio.ac.jp>) の入会申し込み (<https://aic.keio.ac.jp/join>) より、お申し込みいただけます。

## 6. 今後の展開

2019年6月26日(水) 10:00~12:30、日吉キャンパス協生館・藤原洋記念ホールにて、本コンソーシアム発足シンポジウムを開催いたします。会員企業メンバーによるパネル討論も予定しますので、是非ご聴講ください。詳細は、本コンソーシアムWebサイト(<https://aic.keio.ac.jp>)でご案内します。

今後は、三田、湘南藤沢、信濃町、芝共立などのキャンパスでも同様の取り組みを広げていきたいと考えています。また、会員企業の社員の方々の、AI・プログラミングリカレント教育に関する検討や、海外大学とのAI・プログラミング教育連携などを進めていきます。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

---

### 【本発表資料のお問い合わせ先】

コンソーシアムについて

AI・高度プログラミングコンソーシアム事務局（浜田、長井）

TEL：045-566-1794 Email：eiko.hamada@adst.keio.ac.jp <https://aic.keio.ac.jp>

### 【本発表資料の発信元】

慶應義塾広報室（村上）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>